

都市再生整備計画 事後評価書

平成30年 3月19日

地区の名称	港南区日野地区（第2期）			
交付の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	横浜市	
計画の目標				

- ・地区内を流れる日野川の治水安全度を向上させる
- ・日野川を活かした水のネットワークと、日野公園墓地、日野中央公園などとの緑のネットワークを形成する
- ・市民協働でまちづくりを進める

計画の成果目標（定量的指標）

- ・河川整備により日野川の流下能力を向上させることで、50mm/hの降雨に対し、川の水が溢れず安全に流れるようになる。（58m<sup>3</sup>/秒→90m<sup>3</sup>/秒）
- ・河川沿いの通路を整備することにより、水と緑のネットワークを進める。（1,120m→1,420m）

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

① 河川の流下能力

② 水のネットワーク整備量

当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)
58m <sup>3</sup> /秒		90m <sup>3</sup> /秒
(H22当初)		(H27末)
1,120m		1,420m

全体事業費

合計  
(A+B+C)

558

A

558

B

-

C

-

効果促進事業費の割合  
(A(提案分)+C)/(A+B+C)

0.2%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

事後評価の実施時期

事後評価：平成28年度末時点

評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施しました。

公表の方法

横浜市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基盤事業（社会資本整備総合交付金）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
12-A-1	河川	一般	横浜市	直接	横浜市	準用河川改修事業 準用河川日野川	護岸整備 L=190m	横浜市						384	地域自主戦略 交付金含む
12-A-1	地域生活 基盤施設	一般	横浜市	直接	横浜市	港南一丁目緑地整備事業	緑地整備 A=0.34ha	横浜市						147	
12-A-1	高質空間 形成施設	一般	横浜市	直接	横浜市	日野川プロムナード整備事業	プロムナード整備 L=200m	横浜市						26	
12-A-1	事業活用 調査	一般	横浜市	直接	横浜市	日野川整備検討調査	検討調査委託	横浜市						1	提案事業
合計												558			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

### I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

ネック部を河川改修したことで、治水安全度の向上が図られた。  
河川沿い通路の供用ができなかったため、水のネットワークの充実を図れなかった。

### II 定量的指標の達成状況

#### 指標①（河川の 流下能力）

最終目標値

90m<sup>3</sup>/秒

目標値と実績値  
に差が出た要因

最終実績値

90m<sup>3</sup>/秒

#### 指標②（水の ネットワーク整備 量）

最終目標値

1,420m

目標値と実績値  
に差が出た要因

最終実績値

—

### III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）

緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地を持つ多様な機能が高まった。  
日野川整備にあたり、地域住民の意見を取り入れるためワークショップを行ったことにより、地域住民の日野川への関心が高まっている。

## 3. 学識経験者の意見

指標①については、事業効果があったものと認められます。

指標②については、事業未了ということですが、日野川への地域住民の関心の高まりとともに事業完成への期待も大きいと思います。

引き続き河川改修を進めると同時に、暮らしの中の貴重な水空間としての河川を考慮した水と緑のネットワークの整備を進めていくことを期待します。

## 4. 特記事項（今後の方針等）

準用河川日野川の治水安全度の向上と水と緑のネットワークの充実を図るため、防災・安全交付金事業の総合流域防災事業で、引き続き護岸改修を推進し、事業の早期完成を目指します。